

農村女性 第25号

ネットワーク通信

H25年3月

高知県農村女性リーダーの認定

平成24年度高知県農村女性リーダー認定者への認定証授与式が平成25年2月7日(木)に行われました。今年度に認定を受けられた方は次の6名で、認定者総数は300名となりました。



(左から)

眞嶋美加さん(香南市) トマト・乳牛
麻岡真理さん(土佐市) トマト
梅原 純さん(須崎市) ミヨウガ
吉井昭子さん(須崎市) ミヨウガ・シシトウ
宮村サオリさん(土佐清水市) キュウリ・米ナス
松田照代さん(大月町) 米ナス

◆認定研修会

認定証授与式に先立ち高知会館で認定研修として、高知県農村女性リーダーネットワークの矢野靖会長、西村よし子副会長、入野佐代副会長と環境農業推進課の職員(事務局)から、農村女性リーダーの認定制度の趣旨や、ネットワーク活動状況などの説明が行われました。



入野副会長からは、ネットワーク活動に参加させてもらうことで元気をもらった。西村副会長からは、農業という仕事は楽しい。ネットワーク組織があるから、集まる機会があり情報も入る。直接つながなくても刺激になることもある。矢野会長からは、人任せにするのではなく、自らが考え行動し、女性ならではの視点と意見を持って、地域の仲間と力を合わせて農村女性リーダーとして取り組んでほしいとお話がありました。

◆認定証授与式

その後、場所を高知県庁第二応接室に移して、農業振興部の杉本雅敏部長、環境農業推進課の美島政常課長や、武井久チーフ、認定者の住所地を管轄する農業振興センターの職員などが出席した認定証授与式および尾崎正直高知県知事との意見交換会が行われました。

認定証授与式では、尾崎知事から一人ひとりに認定証が手渡されました。



◆意見交換会

知事との意見交換会では、認定者ごとに経営内容や地域での活動状況といった自己紹介や、農業振興に対する意見などが出されました。

眞嶋さんからは、トマト栽培に乳牛の牛ふん堆肥を利用しており「牛の恵みフルーツトマト」という商品名でトマトを販売していることや、高知産フルーツトマトをPRする催し土佐の「おきゃく」トマトサミットに参加していること、仲間や色んなつながりができて昨年には「牛の恵みフルーツトマトジュース」を作ったことなどのお話がありました。

麻岡さんからは、フルーツトマトを18種類作っていること、「野菜ソムリエコミュニティ土佐」を土佐市に組織し、レシピコンテストの開催や、その入賞12作品を紹介した「土佐市のおいしいレシピ集」を作成して、地域の農産物のPRを行っていることなどのお話がありました。



梅原さんからは、JA女性組織「ぐりーんメイト」が発足し副部長として活動している。JA祭りやドラゴンカー大会などに参加している。須崎市は後継者が多い地域だが、独身男性も多いことから婚活サポートをやってみたいなどのお話がありました。

尾崎知事からは、県も「出会いのきっかけ応援事業」をやっている。県庁職員も率先して合コンなどを行っている、取組の紹介がありました。

吉井さんからは、結婚を期に農業を始め、その生活に慣れるまでには苦労があったことや、県外へ消費宣伝に行く機会があり、市場やスーパーなどとも交流が持て、出荷する作物に対する責任感を感じることができたことなどのお話がありました。



【尾崎知事、杉本部長、美島課長】

尾崎知事からは、スーパーと提携して定期的な消費宣伝の場を設けさせてもらっている。PR活動としてだけではなく、生産者が直に消費者の反応を感じる機会としても捉えていただきたいとお話がありました。

宮村さんからは、4年前から横浜に米ナスの消費宣伝に行かせてもらっている。また、23年度からは、高知野菜の出前授業で大阪の小学校へも行かせてもらっている。高知野菜体操を子供と一緒にやったりもしたなどのお話がありました。

松田さんからは、仲間7名による「はちきんグループ」で、芋けんぴを作って売っている。個人的には米ナスのジャムの開発に取り組んでいる。試作品は米ナスの苦手な子供にも「リンゴの味がする」と好評であるなどのお話がありました。

尾崎知事からは、現在、黄金千貫（品種）を使った芋けんぴが売れているが、是非、原料となる芋も高知県産でと思っている。頑張っ取組みを続けてほしいとお話がありました。

◆励ましの言葉



最後に尾崎知事から、農村女性リーダーの制度は平成3年度から始まったが、農村女性リーダーになっていただくことで、横のつながりができていろんな相乗効果が生まれている。農業は県の基幹産業である。しかし、高齢化に伴い人口が減っていく現象をどうしても食い止めなければならない。対策としては移住促進を強化していく。また、地産外商が重要であり、外貨を稼ぐ産業はやはり農業だと思う。県としても色々な新しい技術を進めて行くが、地域の皆様からも「もっとやってやろう」という人にて

てきてほしい。国際通貨基金（IMF）が、日本の経済を立て直すには「女性をもっと活躍させるべきだ」と言っている。高知県も言うまでもなく、女性の今後の活躍に期待しているとお話がありました。



知事、農業振興部長及び環境農業推進課長との記念撮影

☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆

「土佐町に行ってきました・先進事例研修」
中央東地区 山本郁代

雨傘と日傘の両方を持ち、総勢19名で土佐町に向かいました。バスはスムーズに走り予定より早く土佐町へ、運転手さんの提案で四国の水がめ早明浦ダムにも立ち寄ることができました。

最初の研修先は米粉製粉工場、農作業小屋を改装したという建物の中では、嶺北地区内外から持ちこまれたお米を米粉に加工するという工程を目の前で見ることができました。



次は米米ハートの加工場、オープンで音楽の流れる加工場を見学した後は食パン、菓子パン、調理パン……豊富な米粉パンの品揃えにうきうきしながら

たくさん買い込みました。

昼食は四季菜館でのランチ、サラダバーを楽しみ、午後は嶺北農業改良普及所に場所を移して、J A 土佐れいほくの米粉の取り組み、米米ハートの米粉加工の取り組みについて、真辺さんと長野さんから話を伺いました。お二人のバイタリティーあふれる取り組みを聞いていると、あっという間に時間が過ぎ、意識をあらたに元気になりました。

最後に、米粉を利用した調理法について真辺さんをお迎えして学習してはどうかとの提案も出され研修を終わりました。



☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆

「土佐の料理传承人に選定されました」
中央西地区 野瀬喜代・森田満子

私達が所属している、とさし旬物クラブ（土佐市の農村女性リーダー6名が所属しています）が、平成24年度の土佐の料理传承人に推薦され「たち魚めし」「しょうがのかき揚げ」の2品で選定されました。



最初の活動は、平成25年2月6日に開催された『土佐の料理传承人』が伝える高知の食文化～見て、聞いて、食べて、語る～への参加でした。初めてのイベントの参加のため要領がわからないこともあり、当日は朝から準備で大変でしたが、なんとか時間までに会場に着くことができ、ホッとしました。

郷土料理の試食の時間に、土佐の料理传承人からそれぞれの郷土料理や活動紹介があり、私達も自分達の郷土料理の説明と、とさし旬物クラブの活動紹

介をしました。まだ選定されたばかりで、どれだけのことができるのか不安はありますが、郷土の味を伝えていくため、頑張っ て伝承活動に取り組んでいきたいと思 います。

【土佐の料理伝承人とは】(県事業)

高知県内の各地域で郷土料理について卓越した知識・技術等を有し、伝承活動等に取り組んでいる方々で、高知県の食文化を伝承していくとともに、新たな発想と視点により地域食材を活用した高知の食文化を創造する役割を担う方々を選定しています。

☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆

「地域の農産物を使ったお料理講習会」

高吾地区 矢野 靖

平成 24 年 7 月 13 日、仲間づくりと交流を目的にリーダーが講師となって、地域の農産物を使ったお料理講習会を行いました。今年も農業研修生の方や若い女性農業者の方々 3 名の参加があり、情報交換をしながらお料理作りを楽しみました。

今回は、佐川町生活改善グループ 2 名の方にも講師をお願いして、今注目の塩麩（自家製）を使ったお料理や塩麩の作り方を教えていただき、とてもステキな交流となりました。お昼からは美味しいご馳走を囲み、お喋りが止まりませんでした。

参加してくれた方からは「またこういう機会があったら誘って欲しい」という声もいただき、この活動は仲間づくりの場として続けていきたい活動だな、と思いました。

メニューは、生姜ご飯、ニラののり巻き、塩麩の



コールスロー、鶏肉の塩麩焼き、トマトスープ、秋ごぼうとシュガートマトの塩麩リゾット、かぼちゃ入りカッターチーズケーキの 7 品を 2 時間半ぐらいで作りました。

☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆

「幡多地区女性リーダー交流会」

幡多地区 西村よし子

平成 24 年 8 月 22 日、四万十市蕨岡で、幡多地区農村女性リーダーの谷崎容子さんを講師に加工品の講習会を行いました。講習会では、地元で生産されるお米を使った「しば餅」や、「蒸しパン」の講習を行いました。幡多地区では、加工品に取り組んでいるリーダーも多く、慣れた手つきで生地を作る姿や、熱心にメモをとる姿が印象的でした。また、どのように付加価値をつけて販売するか等の販売方法について、情報交換を行いました。今後は、幡多地区の



女性リーダーとの交流をさらに深め、何か 1 つのことにみんなで取り組める活動にしていきたいと思 います。そして、地域の人々にも、農業の素晴らしさ、食の大切さを伝えていきたいと考えています。

【編集後記】

パソコンやスマホ、facebook 等に興味がある方はぜひ声をかけてください。地区まで同好会のメンバーが出張講習会をいたしますのでよろしくお願 いたします。

編集委員 能勢、松村、西笛

【お問い合わせ等は事務局まで】

高知県農業振興部環境農業推進課 担当 武井

電話 088(821)4535

こうち農業ネット・女性リーダー

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/>